

中小企業のための「IoT導入支援セミナーin福井」を開催

～ 事例とワークショップで学ぶ！ ～

総務省北陸総合通信局（局長 山田 和晴）は、公益財団法人ふくい産業支援センター（理事長 山内 和芳）との共催で、9月10日、ソフトパークふくい福井県産業情報センタービル（坂井市丸岡町）において、「事例とワークショップで学ぶ！ 中小企業のための『IoT導入支援セミナーin福井』」を開催し、情報通信サービス業、製造業など様々な業種の方々約30名が参加しました。

セミナーは、IoTを利活用できる人材を育成することを目的とした、総務省の「IoT機器等の電波利用システムの適正利用のためのICT人材育成事業」※1の一環として開催し、農業、製造業、商業、サービス業といった業種ごとの事例を紹介しながら、IoTを導入するメリットを初心者にも分かりやすく解説しました。また、休憩時には、各種センサーから得たデータをRaspberry Pi（ラズベリーパイ）※2で処理する実機のデモ体験を行いました。

参加者からは「これまでIoTは、何でもできると聞いていたものの具体的な利用イメージがわからなかったが、実際に市販されている安価なセンサーを利用しシステム化できることが、よくわかった。」等のコメントが聞かれました。

事前アンケートでは、「企業でのIoTの導入の予定なし」とする受講者は4割強でしたが、セミナーを受講した事後のアンケートでは、9割以上が、講習会への参加によって理解が深まり、「IoTの導入（追加）に前向きになった」と回答があり、関心向上と合わせると100%となりました。

今後、北陸総合通信局では、管内において農業、ものづくりの中小製造企業等、各分野のユーザー企業でのIoT導入支援に取り組むこととしております。

※1 「IoT機器等の電波利用システムの適正利用のためのICT人材育成事業」

今後、多様な分野・業種において膨大な数のIoT機器の利活用が見込まれる中で、多様なユーザーや若者・スタートアップの電波利用に係るリテラシー向上を図ることが不可欠であることから、IoTユーザーを対象とした地域毎の講習会や体験型セミナー、若者・スタートアップを対象としたハッカソン等の取組を推進し、IoT時代に必要な人材を育成することを目的とする事業。

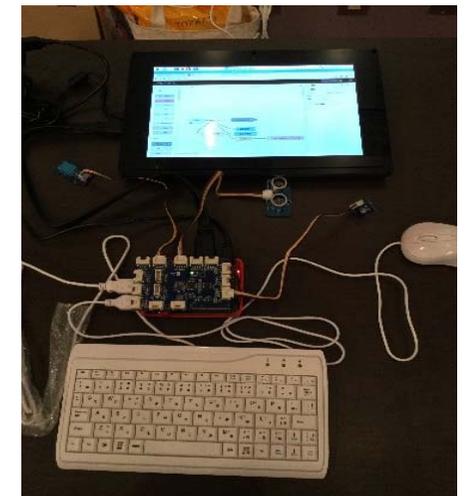
※2 イギリスのラズベリーパイ財団が開発した超小型のシングルボードコンピュータ



挨拶する山田北陸総合通信局長



セミナーの様子



実機のデモの様子

お問い合わせ先
情報通信部電気通信事業課
076-233-4420